



## 第69回エレクトロニクス実装学会教育セミナー 参加募集案内

### 「SDGsを支える二次電池の最新動向 ～液系LiB・全固体電池の技術と課題～」

カーボンニュートラルへ向けて、日本として2050年までに温室効果ガスの排出量を実質ゼロにするという政府目標が掲げられ、また多くの日本企業がSDGsに向けた新たな事業戦略を具体的に策定し推進しようとしています。その中で石油・石炭を発端とするエネルギーではなく、より環境負荷の少ないエネルギーを効率的に生産・輸送・蓄積・消費する流れを構築する事は先の目標を達成する上で不可欠であり、それに伴う新たな事業の創出が期待されています。

電気エネルギーはこの流れを支える最も優れた媒体であることは疑いのないところであり、その主役であるエレクトロニクス機器の将来の姿を見通し、広く議論してゆくことはエレクトロニクス実装学会の大きなテーマの一つです。その中で、蓄電を担う二次電池の最新動向は重要な技術要素であり、教育テーマとして今後の研究・開発などの事業戦略の参考にして欲しいと考えました。

過去、2010年に第53回セミナー「新エネルギー・省エネルギー分野における研究開発戦略」、2018年に第66回セミナー「再生可能エネルギーの大量導入に向けた新技術」を開催し好評を得た経緯があります。上記の背景をもとに、今回のセミナーでは二次電池をテーマとして取り上げます。特に液系LiBや将来を担う全固体電池の研究・開発は世界の中で特にアジアでの開発競争が激しく、国を挙げての取り組みが行われています。その中であって、日本としての推進戦略の最新の方針はどの様に考えられているのか、電池の技術解説やビジネス、サイエンスの側面を広く網羅すべく、省庁、企業、大学の有識者の方々に登壇して頂きます。

**期 日：2023年3月31日（金） 13：30～16：30**

**開 催：オンラインによる開催（Teams開催）**

**【プログラム】**（各ご講演時間には、10分の質疑応答時間を含まれています）

**13：20 入室開始**

**13:30-14:20**

**(1) 液系LiBや全固体電池に関する最近の状況や課題、将来の展望など**

経済産業省 商務情報政策局 情報産業課 電池産業室 加藤 周氏

**14:20-15:20**

**(2) 全固体電池のサイエンス**

東京工業大学 科学技術創成研究院 菅野 了次先生

**15:20-15:30**

休憩

**15:30-16:30**

**(3) 液電池、全固体の課題と方向性**

株式会社村田製作所 プリンシパルリサーチャー 伊藤大輔氏

【申し込みは下記からお願いします。】

## 参加申込みURL

### 【参加要領】

定員：100名（定員に達し次第、締め切ります）

締切：2023年3月29日（水）

参加費：聴講料・テキスト代として（消費税込み）

正会員：5,000 円、賛助会員の社員：5,000 円

協賛会員：5,000円

賛助会員の社員（クーポン使用1枚）：無料

シニア会員：2,000 円

非会員：12,000 円

学生（会員）：無料

学生（非会員）：1,000円

名誉会員：無料

日時 2023年3月31日（金）13:30～16:30

場所 オンラインによる開催（Microsoft Teams使用）

主催 一般社団法人エレクトロニクス実装学会 教育事業委員会

注意事項(参加方法および請求書、領収書発行について)

①申込が受理されますと、返信メールでセミナーのお支払いに関する情報をご連絡致します。

また、参加URLは、別途送付いたします。

②ご申請の手順に従って、参加費のお支払いをお願い致します。

（お支払い方法：銀行振込・クレジットカード決済）

③請求書や振込確認後の領収書のご発行は、返信メールのマイページから出力が可能です。

④WEBの請求書が原紙扱いになりますので、ご了承ください。

⑤賛助・特別クーポンは、1枚/1口まで（複数口の場合は口数分）利用可能です。

申込時にクーポン番号等の全項目を記入しないと、利用できません。

※複数枚使用希望がある場合はお問い合わせください。

\* キャンセルポリシー

お申込み後のキャンセルはできません。